

令和3年度コア・ティーチャー授業力向上講座

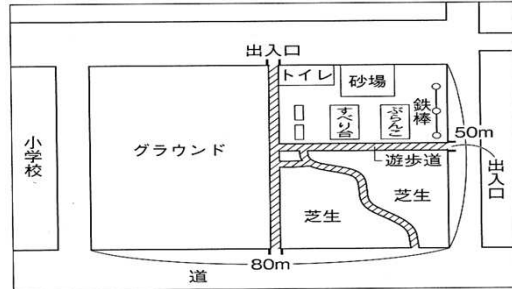
[中学校社会科]

単元において育成する思考力、判断力、表現力を測るための問題

単元において育成する思考力・判断力・表現力	社会生活上起こりうる「対立」を解消し、合意がなされるための判断基準としての「効率」と「公正」の考え方について、多面的、多角的に考察し、自分の考えを適切に表現することができる。
-----------------------	---

問4 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

右の図は、A市にある中央公園の見取り図である。この公園では、グラウンドと芝生エリア・遊具エリアが、遊歩道をへだてて隣接しているため、グラウンドでボールを使用すると、芝生エリアや遊具エリアに飛んでくることがある。そのため、グラウンドでボールを使うスポーツが行われているときは、芝生エリア・遊具エリアを使用する人は非常に少ない。一方、近くにボールを使える施設がないことから、グラウンドでは、毎日長時間ボールを使うスポーツが行われているが、ボールを使うスポーツ以外にグラウンドを利用したいという利用者の要望もある。



まことさんたちは、少しでも多くの人がこの公園を活用できるよう、公園の使い方のルールを考えることにした。以下は、まことさんたちが話し合ったときに出了意見をふせんに書いたものと、話し合いでまとまった案である。

中央公園の使用ルールについて

【話し合ったときに出了意見】

ボールが芝生や遊具に行かないよう、グラウンドの小学校に近い方のみボールを使えばよいのでは。	この近くにボールを使える運動施設はほかにない。	ボールを使うスポーツをしていないときは、グラウンドを球技以外に使える。
野球ボールやサッカーボールが飛んでくると危ない。	ボールを使わない時間帯を設ければ、その時間は遊具や芝生のエリアで安全に遊べる。	ボールを使うスポーツをしたい人が多くいる。

【話し合いの結果、まとまった案】

第1案 安全性を重視し、公園全体でボールの使用を禁止する。	第2案 特定の時間帯を、グラウンドでボールを使う人のための利用時間にす。どの時間帯にするかは地域で話し合って決める。
---	--

【話し合いの結果、まとまった案】について、まことさんたちは、公正と効率の観点から評価することにした。

- (1) まことさんたちは、第2案は第1案に比べて「公正」であると考えたが、「効率」の面で課題があると考えた。どのような点が「効率」的でないのか、説明しなさい。
- (2) あなたなら、どのような案を考えるか。そう考えた理由などを含めて、説明しなさい。

◆解答例

- (1) グラウンドをよりよく利用するという目的を達成するために無駄がないかどうかを考えることになる。いくら「公正」なルールになったとしても、芝生・遊具エリアをまったく使わない日が出たり、グラウンドに空きスペースができたりしてしまうのは、無駄であり、「効率」に反する。話し合いに長時間かけすぎても、解決に時間がかかりすぎる。(実際の生徒の解答例)「地域の人たちで話し合うところ。地域の人にはたくさんいるし、話し合えばとても時間がかかるから効率的ではないと思った。」
- (2) (実際の生徒の解答例)「週の半分はボールを使えて、もう半分は使えなくする。ボールを使う人は週の半分は自由に使えるし、遊具エリアや芝生エリアを使う人も週の半分は安心して利用することができるから、公正も効率もみたまされていると思った。」⇒ルール化する必要性や手順があればさらに良い。